

～「声を上げやすい」「声をかけやすい」社会の実現に向けて～  
**孤独・孤立対策「つながりサポーター」養成講座**  
～ 開催要項 ～

## 1 目的

超高齢・人口減少社会の進展により、孤独・孤立の問題が深刻化してきていますが、孤独・孤立は、外から見えにくく、当事者が声を上げづらい特徴があります。

支援を求める声を上げやすく、また、声をかけやすい社会の実現のためには、身の回りに関心を持ち、助けを求める声に気づきやすい存在が増えることが必要です。

孤独・孤立に対する理解や意識を社会全体で高めていくため、県内各地で「つながりサポーター」の養成講座を開催いたします。

## 2 日時・会場

### (1) 利根沼田会場（定員80名）

- ・日時 令和7年6月24日（火）14:00～15:30
- ・会場 沼田市保健福祉センター102・103 会議室  
（沼田市東原新町 1801-72 / 電話 0278-22-1990）

### (2) 西毛会場（定員70名）

- ・日時 令和7年6月27日（金）14:00～15:30
- ・会場 高崎市総合福祉会館 会議室1  
（高崎市末広町 115-1 / 電話 027-370-8822）

### (3) 吾妻会場（定員85名）

- ・日時 令和7年7月1日（火）14:00～15:30
- ・会場 中之条町役場 大会議室  
（中之条町大字中之条町 1091 / 電話 0279-75-2111）

### (4) 東毛会場（定員60名）

- ・日時 令和7年7月7日（月）14:00～15:30
- ・会場 太田市福祉会館 大会議室  
（太田市飯塚町 1549 / 電話 0276-46-6208）

### (5) 中毛会場（定員100名）

- ・日時 令和7年7月9日（水）14:00～15:30
- ・会場 前橋市総合福祉会館 社会適用訓練室  
（前橋市日吉町 2-17-10 電話 027-237-0101）

## 3 主催

社会福祉法人群馬県社会福祉協議会

## 4 対象

福祉施設・事業所、市町村社協、県・市町村行政、自立相談支援機関、地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、NPO、孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会員団体等、孤独・孤立対策に関心のある方

## 5 申込方法

・会場を選択の上、下記申込フォーム、QRコード、メール・FAXにて お申し込みください。

\*申込フォーム <https://forms.gle/kPgDFfcJNg7VzUZy9>

\*QRコード



\*メール・FAX 「参加申込書」により送信ください。

・申込期限は、各会場開催日の1週間前迄とし、先着順とします。

## 6 内容（予定）

| 時間              | 内 容  |
|-----------------|--|
| 13:45～          | 受付   |
| 14:00<br>～14:10 | 開会（あいさつ・オリエンテーション）   |
| 14:10<br>～15:20 | 講義・個人ワーク「声を上げやすい、声をかけやすい社会の実現に向けて」<br>講師 群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員会委員<br>（利根沼田会場）尾瀬長寿会・特別養護老人ホーム桜花苑 星野 駿人 氏<br>（西毛会場）二之沢愛育会・障害者支援施設大地 中曽根 隆久 氏<br>はるな郷・かつら荘 下山 雄二 氏<br>（吾妻会場）薫英会・ワークショップくんえい 五十嵐 覚 氏<br>（東毛会場）光徳会・ロータスヴィレッジ 須永 桂 氏<br>（中毛会場）恩賜財団済生会・群馬県済生会前橋病院 池田 瑞保 氏 |
| 15:20<br>～15:30 | アンケートの記入・回収<br>受講証の交付  |
| 15:30           | 閉会   |

※本講座は、内閣府（孤独・孤立対策推進室）による「つながりサポーター」養成に基づいたものであり、内容は内閣府作成テキストに準拠しています。

**問合せ先** 群馬県社会福祉協議会 施設福祉課（前橋市新前橋町 13-12）  
TEL：027-212-8287 / FAX：027-255-6173  
E-mail：[g-koueki@g-shakyo.or.jp](mailto:g-koueki@g-shakyo.or.jp)

### **「つながりサポーター」とは？ ～内閣府作成テキストより～**

「何か特別なことをする人」「しなければならぬ人」ではありません。孤独・孤立の問題について知識を身に付け、身の回りの人に関心を持ち、できる範囲で困っている人をサポートする人です。

孤独・孤立の問題は、生活環境の変化や雇用環境の変化など、ライフステージの変化によって誰にでも起こりうるものです。まずは、孤独・孤立について正しく知ること、孤独・孤立の問題を偏見なく、「自分ごと」として捉えていくことが大切です。